

## 令和4年度 名古屋市教育委員会第20号議案

### 令和5年度 教職員研修の基本方針及び育成指標に基づいた重点事項

「ナゴヤ子ども応援大綱」、「名古屋市教育振興基本計画」及び「令和5年度 名古屋市学校教育の努力目標及び重点事項」を受け、令和5年度教職員研修の基本方針及び重点事項を定めた。

#### 【令和5年度教職員研修の基本方針】

#### 子どもの未来のために

- 名古屋市教員育成指標に位置付けた資質・能力を基に研修体系を整備するとともに、教職員が自ら学ぶ姿勢を持ち続けるために、キャリアステージや職務等に応じた各種研修や校内研修支援を充実させ、教職員一人一人の主体的な研修の促進・補完に寄与するように努める。
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる授業改善を踏まえた授業力向上ができる研修事業の充実を図る。
- どの子どもにとってもウェルビーイングを感じられる居場所となる集団づくりをすることができる研修事業の充実を図る。

## 令和5年度 育成指標に基づいた研修の重点事項

### 1 豊かな人間性や教職に対する使命感を養うための支援（素養）

- ・ 心的ストレスの解消と自らをマネジメントする方法や、ハラスメントに関する正しい知識と適切な対処方法について学ぶことで、自己管理能力や**コミュニケーション力**を身に付けることができるようにする。  
(資料 1-1・2・3・4 自己管理能力)
- ・ **共生社会の実現を目指して、多様性についての理解を深めたり、障害のある児童生徒への合理的配慮について学んだりすることで、人権を尊重する意識を高めることができるようにする。**  
(資料 1-1・2・3・4 人権意識の醸成・推進)

### 2 的確な幼児児童生徒理解力を培うための支援（児童生徒理解）

- ・ **WEBQU の見方や結果を基にした学級集団づくりの方法、SCやSSWを中心とした校内での事例検討会のもち方について学ぶことで、いじめや不登校などの様々な不安や悩みを抱えている児童生徒に対する理解を深めることができるようにする。**  
(資料 1-1・3・4 子ども理解・同僚性)
- ・ 障害のある子どもの特性や、**教育的ニーズのある子どもへの指導・支援の具体的な方法について学ぶことで、特別支援教育への理解を深めることができるようにする。**  
(資料 1-1・3・4 特別支援教育に対する理解)

### 3 学習指導や集団づくりにおける実践的指導力を高めるための支援

#### (1) 学習指導

- ・ **個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させる授業づくりについて学んだり、子どもがタブレットPCを効果的に活用するような授業づくりを学んだりすることで、実践的指導力を身に付けることができるようにする。**  
(資料 1-1 授業構成・授業展開・授業評価)

#### (2) 集団経営

- ・ 子どもに対する見方・捉え方を広げる教育相談の**具体的な方法や、子どもが安心・安全な居場所と感じるような学級経営の方法**について学ぶことで、**いじめや不登校の未然防止へとつながる実践的な指導力**を身に付けることができるようにする。  
(資料 1-1 経営・生徒指導)

### 4 専門性に基づいた実践力を高めるための支援（固有の力）

- ・ 保健教育の具体的な指導法を学ぶことで、養護教諭としての実践的指導力を身に付けることができるようにする。  
(資料 1-3 指導力)
- ・ 食に関する具体的な指導方法を学ぶことで、栄養教諭としての実践的指導力を身に付けることができるようにする。  
(資料 1-4 指導力)

### 5 組織の一員として学校力を高める力を培うための支援（マネジメント）

- ・ 学校・学年経営、人材育成、配慮を要する子どもの支援体制等について中堅教員が中心に学ぶことで、学校の中核を担う教員として連携・協働するための実践的指導力を身に付けることができるようにする。  
(資料 1-1・3・4 同僚性)
- ・ 働き方改革の実現に向けた職場づくりや、**主体的に学び続ける教職員の集団づくり**を通して、学校組織をマネジメントする力を身に付けることができるようにする。  
(資料 1-2 学校園経営) (資料 1-1・3・4 同僚性)

## 参考資料:養成段階への重点事項

『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について  
～「新たな教師の学びの姿」の実現と多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～

(令和4年12月 中教審答申)

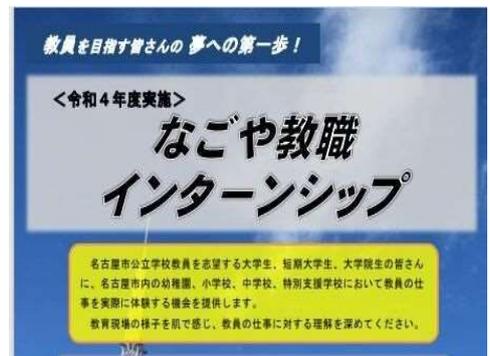
### 教員養成に関して

昨今「教師不足」が社会課題となっている中で、教員養成大学・学部、教職大学院において、子どもの学びを支える、専門的かつ創造的な高度職業人としての教師像の確立に向け、教育委員会と積極的に連携・協働し、養成・採用・研修等の一体的な充実に取り組んでいくことが求められている。 (上記の中教審答申より抜粋)

### 養成に関する事業の拡充

養成段階において、大学等と教育委員会が連携・協働し、今日的な学校教育課題に対応した多様な現場体験や学習機会等の充実を図ることが重要である。

そこで、多くの大学等へのなごや教職インターンシップによる現場体験の提供（理論と実践の往還）、採用決定者に対する新任教員応援セミナーに加えて、今後は、教員志望の大学生や本市学校教育に関心のある市民等に対する学びや情報提供の機会として、教員向けの校内研修コンテンツの動画を可能な限り視聴できるようにしたり、本市の学校教育の取り組みにかかわる情報提供（広報紙:センターNAGOYA、センター研究のダイジェスト版の掲載）をしたりできるように教育センターのホームページを改善していく。



### 【校内研修コンテンツ】



### 【教育センターNAGOYA】



名古屋市教員育成指標（教諭版）

※ キャリアステージは、自分の教員経験や校内での立場を考慮して自分で選択する。

資質能力	ステージ		名古屋市の求める 善任時の姿	教員としての 基礎を培う 段階	教員としての 専門性を高める 段階	教員としての 協働性を高める 段階	教員としての 広い視野で様々な 役割を果たす 段階		
	視点								
求められる資質や能力	素養	自己管理能力	教員としての適性を常に意識しながら、教職に対する使命感を高める。	・服務規律を遵守する、規範意識をもつなどの自己を管理する力					
		人権意識の醸成		・人権に対する知識や偏見・差別に気付く感覚など、人権を尊重できる意識の醸成					
		学び続ける意欲		・新たな教育課題を発見・設定し、解決策を探求する意欲					
		コミュニケーション力		・相手の思いをくみ取り、積極的にコミュニケーションする力					
	児童生徒理解力	子ども理解	一人一人の児童生徒に対して愛情をもって接する意識を高くもち、児童生徒を共感的に理解することの大切さや合理的配慮の意義について実感を伴って理解している。	・学級の児童生徒の家庭環境や交友関係等の把握と対応	・学級・学年の児童生徒の家庭環境や交友関係等の把握と対応	・学級・学年・学校の児童生徒の家庭環境や交友関係等の把握と対応			
		子どもと向き合う姿勢		・どの児童生徒に対しても公平・公正に、愛情をもって接する態度					
		特別支援教育に対する理解		・配慮を要する児童生徒と学級・学年集団への適切な指導・支援 ・個別的教育支援計画、指導計画の実行に向けた連絡・調整					
	学習指導力	授業構成	実践的指導力の基礎となる知識、技能を習得し、体験を通して、授業づくりや授業の進め方等について理解している。	・主体的・対話的な授業づくりの推進					
		授業展開		・ねらいに応じた授業づくり	・学校教育目標を踏まえた授業づくり				
		授業評価		・ねらいに応じた学習指導の充実	・ねらいと個に応じた学習指導の充実				
	集団経営力	経営	学級・学年単位での集団づくりの基礎や、生徒指導の基礎について具体的に理解している。	・安心・安全に過ごせる温かい学級づくり		・安心・安全に過ごせ、互いを認め合う温かい学級・学年づくり			
				・よりよい人間関係づくり、集団づくり			・よりよい人間関係づくり、集団づくりへの支援		
		生徒指導		・集団に対する社会性や自己肯定感を高める指導	・自己肯定感、自尊感情を高める指導 ・予防的・開発的な生徒指導	・生徒指導上の課題を協働して解決するための適切な助言			
	マネジメント力	家庭・地域・関係機関との連携	組織の一員として同僚や外部（保護者、地域）との連携・協働、安心・安全な学校生活について実感を伴って理解している。	・家庭・地域・関係機関との適切な情報共有と共通理解		・家庭・地域・関係機関との円滑な連携	・家庭・地域・関係機関との調整役としての貢献		
		同僚性		・職場の一員として共に協力しようとする意識と行動		・調整役としての学校運営への参画		・教職員間の調整役としての積極的な貢献	
				・学年経営への貢献	・学年・学校の強みを活かした学校教育目標の具体化	・若手・ミドルリーダーの立てた具体策に対する幅広い見地からの助言			
				・学年・学校運営への参画を意識した適切な意見具申					
	危機管理	・安全配慮義務についての理解と迅速な対応 ・「報告・連絡・相談」による課題解決	・事故等発生時の迅速かつ適切な対応	・事故等発生時の迅速かつ適切かつ組織的な対応					

※基礎を培う段階はおおよそ1～5年目、専門性を高める段階はおおよそ6～10年目、協働性を高める段階はおおよそ11～25年目、広い視野で様々な役割を果たす段階はおおよそ26年目以上を目安にとよい。

## 名古屋市教員育成指標(管理職版)

ステージ 資質能力	視点	教頭期	校(園)長期	
		学校の経営ビジョンを実現するための調整力を高める段階	学校園の経営ビジョンを示し、リーダーシップを発揮する段階	
求められる 資質や能力	素 養	自己管理能力	・サービス規律を遵守する、メンタルヘルスやハラスメントに関する正しい知識と適切な対処方法をもつなどの自己を管理する力	
		人権教育の推進	・人権に対する深い知識や偏見・差別を認めない姿勢をもって、教職員に指導できる力	
		学び続ける意欲	・新たな教育課題を発見・設定し、解決策を探求する意欲と、多様な学びを啓発できる力	
		人間関係調整力	・相手の思いをくみ取り、教職員や保護者、地域等と積極的にコミュニケーションし、信頼関係を築く力	
	マ ネ ジ メ ン ト 力	学校園 経営	・学校の実状や課題を踏まえた上でのビジョン策定に向けた進言	・学校の実状や課題を分析・把握し、将来を見据えたビジョンの策定
			・ビジョンの実現に向けた、校務の効率化	・ビジョンの実現に向けた、校務の効率化
			・社会に開かれた教育課程の編成に関わる進言	・社会に開かれた教育課程の編成・管理
			・特別支援教育の推進に向けた体制づくりと環境整備	・ビジョンの実現に向けた特別支援教育の推進
			・学校園経営の効果や課題についての検証・改善に関わる進言	・学校園経営の検証を受けた次年度以降の方向性の確立
			・教職員の心身の健康状態の把握と多忙化解消に向けた働き掛け	・教職員の多忙化解消に向けたビジョンの明確化
			・法令や事例等を基にした適切な労務管理	・法令や事例等を熟知した上での適切な労務管理
	家庭・地域・ 関係機関 との連携	人材育成	・全職員の勤務状況を把握し、個々の職員の適正や能力に合わせた指導助言	・個々の適正や能力に応じた分掌の配置
			・若手、ミドル、ベテランをつなぐOJTの推進	・教職員評価に基づく職場環境の活性化
	財務管理	家庭・地域・ 関係機関 との連携	・家庭や地域、関係機関等からの情報収集・分析と適切な対応・交渉	・ビジョンとその実現に向けた方策の明確な説明
			・開かれた学校を意識した、保護者や地域に向けての学校園経営に関する情報の発信	・学校園経営に関する情報の発信に向けた指導助言
	危機管理	財務管理	・就学指導における適切な対応	・就学指導に対する指導助言
			・教職員と連携した施設・設備の充実と安全管理	・施設・設備の充実と安全管理に対する指導助言
			・事務職員と連携した公金の適正管理、諸帳簿等の整理	・公金管理、諸帳簿整理に対する指導助言
	危機管理	健康課題の解決に向けた協力体制づくり	・健康課題の解決に向けた協力体制づくり	・健康課題の解決に向けたビジョンの明確化
			・防災や学校安全に関する法令や事例、マニュアル等を基にした適切な危機管理	・防災や学校安全に関する法令や事例、マニュアル等を熟知した上での適切な危機管理
・生徒指導上の問題に対する適切で迅速な連絡調整			・生徒指導上の問題に対する適切で迅速な判断	

※ キャリアステージは、自分の教員経験や校内での立場を考慮して自分で選択する。

資質能力	ステージ		名古屋市の求める 着任時の姿	教員としての 基礎を培う 段階	教員としての 専門性を高める 段階	教員としての 協働性を高める 段階	教員として 広い視野で様々な 役割を果たす 段階
	視点						
素養	自己管理能力	教員としての適性を常に意識しながら、教職に対する使命感を高める。	・サービス規律を遵守する、規範意識をもつなどの自己を管理する力				
	人権意識の醸成		・人権に対する知識や偏見・差別に気付く感覚など、人権を尊重できる意識の醸成				
	学び続ける意欲		・新たな教育課題を発見・設定し、解決策を探求する意欲				
	コミュニケーション力		・相手の思いをくみ取り、積極的にコミュニケーションする力				
児童生徒理解力	子ども理解	一人一人の児童生徒に対して愛情をもって接する意識を高くもち、児童生徒を共感的に理解することの大切さや合理的配慮の意義について実感を伴って理解している。	・児童生徒の発達上の課題や心身の健康状態などの把握と対応				
	子どもと向き合う姿勢		・児童生徒の理解を深める校内での情報共有の場づくり				
	特別支援教育に対する理解		・どの児童生徒に対しても公平・公正に、愛情をもって接する態度				
求められる資質や能力	保健教育	指導力	・健康課題を捉え、保健指導計画の作成への参画	・健康課題を捉え、保健指導計画の作成と実践	・保健教育におけるコーディネーターの役割	・社会に開かれた教育課程の中での保健教育の位置付けに向けた働き掛け	
			・学習指導要領の内容の理解	・ねらいに応じた授業づくり	・実践に基づく評価と改善	・保健教育の実践への指導助言	
	健康相談	健康課題への対応力	・早期発見、早期対応に向けた心身の健康課題の把握	・健康相談のプロセスの理解と対応	・健康相談におけるコーディネーターの役割	・教職員が行う健康相談に対する助言	
			・健康相談の理解と対応			・関係諸機関を含めた支援体制づくり	
	保健管理	心身の健康管理をする力	・けがや疾病に対する的確な判断と迅速な対応	・健康診断や健康観察の結果に基づく、健康課題への対応	・けがの防止や疾病予防の組織的な推進	・保健管理の充実に向け、関係諸機関との協力体制の確立	
			・健康診断や健康観察の結果に基づく、健康課題への対応	・保健管理の充実に向け、校内での中心的役割			
保健室経営	経営力	・保健室経営計画の作成と校内での共通理解	・学校保健活動のセンター的役割を果たす保健室経営の工夫と改善	・保健室経営の立場からの学校運営への参画			
保健組織活動	連携・協働する力	・保健主事とともに保健組織活動の計画、実施	・保健組織活動を主体的に計画、実施	・保健組織活動への教職員の主体的な参加に向けた働き掛け	・地域レベルでの保健組織活動の推進		
マネジメント力	家庭・地域・関係機関との連携	組織の一員として同僚や外部（家庭、地域）との連携・協働、安全・安心な学校生活について実感を伴って理解している。	・家庭・地域・関係機関との適切な情報共有と共通理解	・家庭・地域・関係機関との円滑な連携	・家庭・地域・関係機関との調整役としての貢献		
			・調整役としての学校運営への参画	・調整役としての学校運営への参画	・教職員間の調整役としての積極的な貢献		
	・職場の一員として共に協力しようとする意識と行動		・養護教諭の専門性や保健室の機能を活かした学校教育目標の具体化	・若手やミドルリーダーの立てた具体策に対する幅広い見地からの助言			
	・学校運営への参画を意識した管理職への意見具申						
危機管理	危機管理	・安全配慮義務についての理解と迅速な対応	・問題行動・事故等発生時の迅速かつ適切な対応	・問題行動・事故等発生時の迅速かつ適切かつ組織的な対応			
		・「報告・連絡・相談」による課題解決					

※基礎を培う段階はおおよそ1～5年目、専門性を高める段階はおおよそ6～10年目、協働性を高める段階はおおよそ11～25年目、広い視野で様々な役割を果たす段階はおおよそ26年目以上を目安にするとよい。

※ キャリアステージは、自分の教員経験や校内での立場を考慮して自分で選択する。

資質能力	ステージ		名古屋市の求める 着任時の姿	教員としての 基礎を培う 段階	教員としての 専門性を高める 段階	教員としての 協働性を高める 段階	教員として 広い視野で様々な 役割を果たす 段階	
	視点							
素養	自己管理能力	教員としての適性を常に意識しながら、教職に対する使命感を高める。		・服務規律を遵守する、規範意識をもつなどの自己を管理する力				
	人権意識の醸成			・人権に対する知識や偏見・差別に気付く感覚など、人権を尊重できる意識の醸成				
	学び続ける意欲			・新たな教育課題を発見・設定し、解決策を探求する意欲				
	コミュニケーション力			・相手の思いをくみ取り、積極的にコミュニケーションする力				
児童生徒理解力	子ども理解	一人一人の児童生徒に対して愛情をもって接する意識を高くもち、児童生徒を共感的に理解することの大切さや合理的配慮の意義について理解している。		・児童生徒の健康状態などの把握と対応 ・児童生徒の理解を深める校内での情報共有の場づくり				
	子どもと向き合う姿勢			・どの児童生徒に対しても公平・公正に、愛情をもって接する態度				
	特別支援教育に対する理解			・配慮を要する児童生徒への適切な指導・支援				
栄養教諭固有の力	食に関する指導	指導力	食に関する指導の推進における栄養教諭の役割及び学校組織・運営、校務分掌を理解し、栄養教諭の専門性を活かした指導をしようとしている。	・食に関する指導計画の立案と実践及び評価、改善				
				健康課題への対応力	・教職員と連携を図った食に関する指導の実践	・食に関する指導体制の整備	・地域性を生かした食育の計画や推進への主体的な関わり	・食に関する指導に対する適切な授業分析
	給食管理	栄養管理能力	学校給食の管理における栄養教諭の役割及び学校組織・運営、校務分掌を理解し、栄養教諭の専門性を活かした実践をしようとしている。		・学校給食栄養摂取基準に基づいた食品構成に考慮した献立の作成		・給食管理と食に関する指導を一体化した視点での献立作成	・学校給食における献立作成や調理、配食及び施設設備に関する全市の視野での指導的役割
					・学校給食の調理、配食及び施設設備に関する指導助言		・児童生徒の成長の特性や地域の実態などに基づいた適切な栄養管理	・食に関する指導に生かすための情報を全教職員に提供、助言
					・名古屋市「学校給食における衛生管理と安全の手びき」に基づいた、調理従事者の衛生、施設設備の衛生、及び食品衛生の適性を期するための日常点検の実施及び助言		・衛生管理についての日常的な評価、改善、及び、学級における衛生管理への適切な指導助言	・衛生管理に関する全市の視野での指導助言
					・家庭・地域・関係機関との円滑な連携		・調整役としての学校運営への参画	・家庭・地域・関係機関との調整役としての積極的な貢献
マネジメント力	家庭・地域・関係機関との連携	組織の一員として同僚や外部（家庭、地域）との連携・協働、安全・安心な学校生活について実感を伴って理解している。		・家庭・地域・関係機関との適切な情報共有と共通理解		・調整役としての学校運営への参画	・家庭・地域・関係機関との調整役としての積極的な貢献	
	同僚性			・職場の一員として共に協力しようとする意識と行動		・調整役としての学校運営への参画	・若手やミドルリーダーの立てた具体策に対する幅広い見地からの助言	
				・安全配慮義務についての理解と迅速な対応 ・「報告・連絡・相談」による課題解決		・学校給食の専門性を活かした学校教育目標の具体化	・学校運営への参画を意識した管理職への意見具申	
危機管理			・事故等発生時の迅速かつ適切な対応	・事故等発生時の迅速かつ適切かつ組織的な対応				

※基礎を培う段階はおおよそ1～5年目、専門性を高める段階はおおよそ6～10年目、協働性を高める段階はおおよそ11～25年目、広い視野で様々な役割を果たす段階はおおよそ26年目以上を目安にするといふ。

教員のキャリアステージに応じた研修体系(教諭版)

						キャリアステージ (自分の経験や校内での立場を考慮して自分で選択する)			
素養	児童理解力	生徒力	学習指導力	集団経営力	マネジメント力	教員としての基礎を培う段階	教員としての専門性を高める段階	教員としての協働性を高める段階	教員として広い視野で様々な役割を果たす段階
						◎初任研	◎5年研	◎10年研	
	●	●	★	●	●	◎初任研	◎5年研	◎10年研	
	●			●		・生徒指導研修会 ・教育相談研修会			
			★		●	・情報教育担当者研修会			
	●				●	・特別支援教育コーディネーター研修会			
	●	●	●	●		・特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室新規担当教員研修会			
	●	●	●			・特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室教員研修会			
		●	●			・幼稚園教育研修会 (幼児教育支援室が実施)			
	●					・人権教育研修			
			★			・アイデアいっぱい!楽しい授業づくり講座 ・コンピュータ講座 [C II]			
			★			・コンピュータ講座 [C I]			
			●			・高等学校学びの変革研修			
	●	●	●	●		・高等学校各科研修講座 ・高等学校探究セミナー			
	●	●	●	●	●	・ミドルリーダー研修			
		●				・OJTで進める教育相談講座			
		●	●			・特別支援学校授業づくり講座			
		●		●		・若手教員のための学級集団づくり講座			
		●		●		・教育相談基礎講座			
		●		●	●	・教育相談発展講座 (教育相談基礎講座を修了した者)			
			★			・特別支援学校・特別支援学級指導法講座			
	●					・個別の指導・支援推進講座			
	●					・発達障害のある子どもの理解と支援講座			
		●		●	●	・特別支援教育推進講座			
	●	●	●		●	・日本語指導を必要とする児童生徒指導法講座			
		●	●	●		・幼年教育研修講座 (幼児教育支援室が実施)			
		●	●	●	●	・特別支援教育専門研修			
	●		●		●	・教育研究員			
	●				●	・長期社会体験研修			
					●	・生涯学習研修			
	●		●		●	・若手教員海外派遣研修			
		●	●	●	●	・教職大学院派遣研修 (5年目～)			
		●	●			・教師力フォローアップ			
	●			●	●	・学校情報化推進リーダー養成講座			

★はICTに関わる研修

※基礎を培う段階はおよそ1～5年目、専門性を高める段階はおよそ6～10年目、協働性を高める段階はおよそ11～25年目、広い視野で様々な役割を果たす段階はおよそ26年目以上を目安にするといふ。

## 教員のキャリアステージに応じた研修体系(管理職版)

		キャリアステージ (自分の経験や校内での立場を考慮して自分で選択する)	
		教頭期	校(園)長期
		学校の経営ビジョンを実現するための調整力を高める段階	学校園の経営ビジョンを示し、リーダーシップを発揮する段階
求められる 資質や能力	●	●	◎新任教頭研修 ◎2年目教頭研修 ◎新任校(園)長研修 ◎2年目校(園)長研修
		●	・教頭研修会 ・校(園)長研修会
	●		・管理監督者のためのメンタルヘルス研修(教頭) ・管理監督者のためのメンタルヘルス研修(校長)
	●		・人権教育研修
	●		・発達障害のある子どもの理解と支援講座
	●		・日本語指導を必要とする児童生徒指導法講座
		●	・情報機器等の運営・管理講座

教員のキャリアステージに応じた研修体系(養護教諭版)

					キャリアステージ (自分の経験や校内での立場を考慮して自分で選択する)			
素養	児童理解力	養護の教諭	マネジメント力	キャリアステージ				
				教員としての基礎を培う段階	教員としての専門性を高める段階	教員としての協働性を高める段階	教員として広い視野で様々な役割を果たす段階	
	●	●	★	●	◎新採養護研	◎養護5年研	◎養護10年研	
		●			・教育相談研修会			
		●		●	・特別支援教育コーディネーター研修会			
●					・人権教育研修			
		★			・アイデアいっぱい!楽しい授業づくり講座 ・コンピュータ講座 [CII]			
		★	●		・コンピュータ講座 [CI]			
	●	●			・高等学校各科研修講座			
●	●	●	●		・ミドルリーダー研修			
	●				・OJTで進める教育相談講座			
	●	●			・教育相談基礎講座			
	●	●	●		・教育相談発展講座 (教育相談基礎講座を修了した者)			
	●	●			・発達障害のある子どもの理解と支援講座			
	●	●	●		・特別支援教育推進講座			
	●	●	●		・学校保健研修講座			
●		●	●		・教育研究員			
●			●		・長期社会体験研修			
●		●	●		・若手教員海外派遣研修			
	●	●	●		・教職大学院派遣研修 (5年目~)			
●			●		・学校情報化推進リーダー養成講座			

★はICTに関わる研修

※基礎を培う段階はおよそ1~5年目、専門性を高める段階はおよそ6~10年目、協働性を高める段階はおよそ11~25年目、広い視野で様々な役割を果たす段階はおよそ26年目以上を目安にするとよい。

教員のキャリアステージに応じた研修体系(栄養教諭版)

					キャリアステージ (自分の経験や校内での立場を考慮して自分で選択する)			
求められる 資質や 能力	栄養	児童理解力	固有の栄養教諭力	マネジメント力	教員としての基礎を培う段階	教員としての専門性を高める段階	教員としての協働性を高める段階	教員として広い視野で様々な役割を果たす段階
	●	●	★	●	◎新採栄養研	◎栄養5年研	◎栄養10年研	
			●	●	・栄養教員・学校栄養職員研修会			
	●				・人権教育研修			
			★		・アイデアいっぱい!楽しい授業づくり講座 ・コンピュータ講座 [C II]			
			★	●	・コンピュータ講座 [C I]			
	●	●	●	●	・ミドルリーダー研修			
		●			・教育相談基礎講座			
		●		●	・教育相談発展講座 (教育相談基礎講座を修了した者)			
		●	●		・発達障害のある子どもの理解と支援講座			
●		●	●	・教育研究員				
●			●	・長期社会体験研修				
●		●	●	・若手教員海外派遣研修				
●			●	・学校情報化推進リーダー養成講座				

★はICTに関わる研修

※基礎を培う段階はおよそ1~5年目、専門性を高める段階はおよそ6~10年目、協働性を高める段階はおよそ11~25年目、広い視野で様々な役割を果たす段階はおよそ26年目以上を目安にするといふ。